

アルケミラ・モリス
Alchemilla mollis
 (バラ科)

本来はガーデン用の宿根草だが、ブプレウラムに似た黄緑色の小さな星型の花が添え花として使われる。花卉に見えるのはがく片。ハーブにも利用され、葉が聖母マリアのマントに似ていることからレディースマントルとも呼ばれている。

水あげがよく、花房が萎れたり、がく片の萎れや落花もないので、花序、小花、葉の変色で日持ちを判定する。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
花序の変色	花序全体の色が、 A: 黄緑色 B: わずかに褐色が混じる C: 全体がやや褐色 D: 全体が褐色	出荷時にはほとんどの小花は開花しており、黄緑色である。
小花の変色	A: 芯に小さな褐色の点 B: 芯の一部が褐変 C: 芯が褐変 D: 芯とがく片が褐変	芯にある子房部分が褐変する。
葉の黄変	下葉に、 A: 黄変がない B: 葉の縁がやや黄変 C: 葉面積の1/3程度が黄変 D: 葉全体が黄変	下葉から黄変が始る。
その他		

2) 留意点

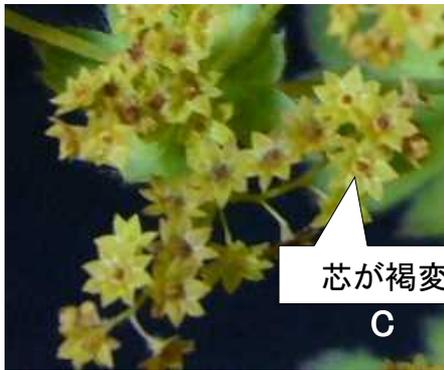
小花の開花程度には差があるので、花房全体の色が黄緑色から褐色への変化を指標にする。

3) 開花



4) チェック事項

小花の芯の褐変



葉の黄変

